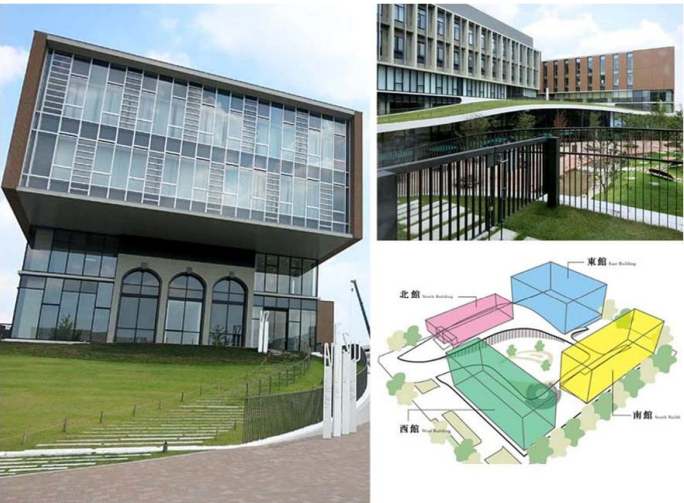


外観



ナゴヤドーム近くに、開設された当キャンパスは「キャンパスから地域へ、キャンパスから世界へ」がコンセプト。東西南北に4棟を配置、地域環境に配慮した先進のエコキャンパスである。

東館1F 図書館 女性トイレ



大便器は床の清掃性に優れた壁掛大便器を採用。2度流しを減らす音姫(擬音装置)機能を搭載したウォシュレットPを採用。手洗器の横にパウダーコーナーを完備している。

東館1F 多機能トイレ



車いす使用者やオストメイトの方など、さまざまな使用者に対応できる設備を完備。

東館1F 図書館 内観



開放感あふれる大きな吹き抜けのある図書館。最新のICT環境を整備し、教育研究を支える施設となっている。

東館1F 図書館 男性トイレ



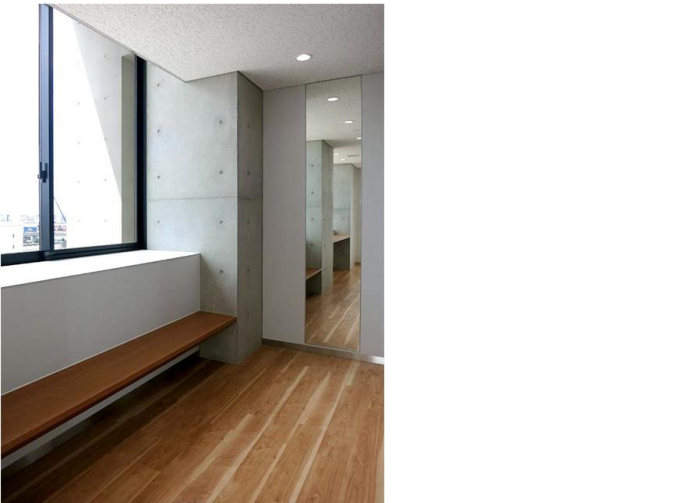
用足してから手洗いまでを行える、個室完結型の男性トイレを1ヶ所設置。

北館1F 女性トイレ



キャンパス内のトイレは白と木目を基調としたナチュラルな空間。間仕切り壁を天井まで立ち上げ、防犯対策を図っている。サインのデザインにもこだわっており、意匠性の高い曲線使いのサインを設置。

北館3F 女性トイレ 入口



入口には身繕いもできる全身鏡とベンチを設置。ベンチは学生同士の待ち合わせに利用されるほか、荷物を置くことができる。

西館3F 男性トイレ 洗面コーナー



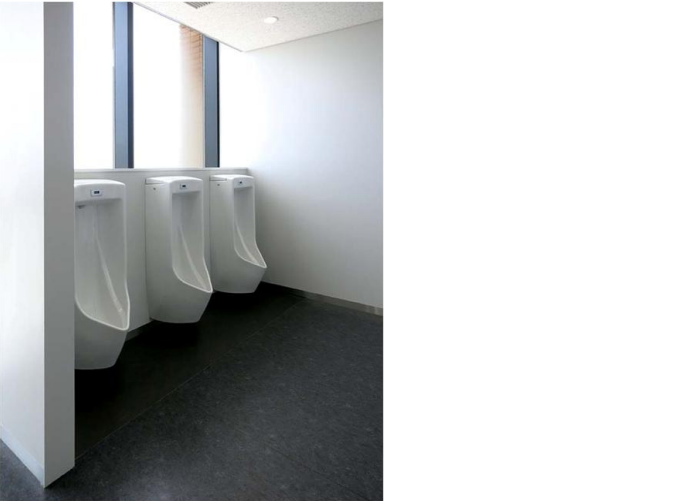
男性トイレには、荷物配慮として、洗面コーナー横に棚を設けている。

北館3F 女性トイレ 洗面・パウダーコーナー



化粧ポーチなどの小物を置くことができるツインデッキカウンターを採用。カウンターの向側には、外の景色を眺めながら化粧直しができる、清々しいパウダーコーナーを設置している。

西館3F 男性トイレ 小便器コーナー



窓に面した開放的な小便器コーナー。床面の清掃性に優れた壁掛式の自動洗浄小便器を採用している。

建築概要

名称	名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス
所在地	愛知県名古屋市東区矢田南4-102-9
施主	学校法人名城大学
設計	株式会社日本設計
施工	株式会社大林組
竣工年月	2016年3月

水まわりの特長

<建物の特徴>
名城大学は、中部圏最大の規模と歴史を誇る文理融合型の総合大学である。創立90周年の記念事業の1つとして、キャンパスリニューアルを実施。新設された「ナゴヤドーム前キャンパス」もその一環である。「つながりを、チカラに」のテーマのもと、世界と地域、人がつながる創造型キャンパスを目指した。小川が流れる緑豊かな中庭を囲むように、東西南北に4棟を配置。カフェや社会連携スペースは一般の方も利用ことができ、休日も多くの人で賑わう。豊かな出会いと交流を育む、明るく開放的なキャンパスである。

<トイレの特長>
トイレは白と木目を基調とした清潔感に満ちたナチュラルな空間。外国語学部が新設されることから女子学生が増えることを想定し、女性配慮にこだわったトイレ作りを行なった。まず、トイレ入口に待ち合わせや荷物を置くことができるベンチを設置。洗面コーナーには化粧ポーチなどの小物を置くことができるツインデッキカウンターを採用、パウダーコーナーは個別鏡とするなど女性が使いやすい工夫を生かした。また、開放的なキャンパスであることから、防犯対策として、すべての大便器ブースの間仕切り壁を天井まで立ち上げている。さらに、施設全体の空間意匠にふさわしいサインにこだわり、トイレサインも曲線を生かしたシンプルなデザインを採用している。